

『クリーンファームさつきの野菜』好評販売中

すだちの家の「クリーンファームさつき」では、自然豊かな尾道市御調町で葉物野菜の水耕栽培を行っています。水耕栽培はビニールハウスで土の代わりに液肥を使いながら、天候に左右されにくい環境で一年を通して安定した野菜を栽培・販売できる特徴があります。その環境下で種まきから収穫・納品までを利用者さんと職員が役割分担し、毎日立派な野菜が採れるのを楽しみに活動しています。

また、農薬を使用しないため、安心して食べていただくことができます。「すだちのサラダほうれん草は苦みが少ないから、野菜嫌いの子もがこれなら食べてくれる」と地域の方からも好評をいただいています。採れた野菜は、ええじゃん尾道、クロスロードみつき野菜市、市内隣市のスーパーや飲食店などにも卸していますので、是非ご賞味ください。

すだちの家 ありた はなえ
有田 英恵

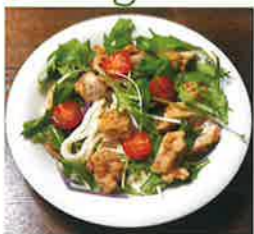


水菜や小松菜、ルッコラ、ビーツリーフも栽培中!

サラダうどん

ドレッシングをいろいろ変えてみるとバリエーションがいっぱい。

- ① ほうれん草や水菜、トマトを洗い食べやすい大きさに切ります。
- ② ①の野菜を茹でたうどんの上に乗せ、できあがり。
- ③ から揚げやツナなどをトッピングするのもおすすめです。



生野菜肉巻き

体を温める鍋の時期におススメです!!

- ① ほうれん草と水菜を洗い、食べやすい大きさに切ります。
- ② ①の野菜を茹でたお肉で巻いたらできあがり。



地域共生型福祉研修会を開催

～誰もが安心して暮らせる地域の実現に向けて～

2023年12月10日、障害サービス事業部の企画で地域共生型福祉研修会を開催しました。この研修会は、2024年4月に予定しているプライトの開設に合わせ、強度行動障害や自閉症の方に対する市民の理解を深める目的で行いました。

研修会には行政職員や大学教員、教育機関など幅広い関係者に講演いただき、強度行動障害のある方の暮らしや支援方法について考えました。初の取り組みでしたが、参加した支援者や市民からは「分かりやすく、学ぶことができた」など好評でした。

サポート&ケアセンターフレンズ ふじおか なおみ
藤岡 直



▲意見交換を行う講演者



尾道福祉専門学校
TikTok



SATSUKI
ONLINE STORE



2024年度
尾道福祉専門学校
介護福祉士実務者
研修のお知らせ



尾道さつき作業所
Instagram



TEORIYA.ONONICHI
手織り屋おのみち
Instagram

寄付者一覧

2023年7月～2023年12月
順不同・敬称略

<寄付金>

医療法人佐々木小児科 院長 佐々木伸孝
尾道パイロットクラブ 会長 田頭和子
府中地区労福協 会長 西林弘泰
山本製作所 永正寺 上野幸子 匿名希望

<寄付物品>

土井和江 岩本公平

さつき SATSUKI

第79号
令和6年3月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com



馬に乗った時の揺れやリズムは、人の歩行運動に近いといわれています。馬の動きに合わせることで自然にバランス感覚が養われ、自分の体の姿勢調節が上手になる効果があります。また、馬とのふれあいを通して、社会的相互作用やコミュニケーションスキルに効果がみられています。

何より子ども達が、毎回、馬に会う日を心待ちにし、笑顔いっぱい乗馬療育を楽しんでいます。

児童発達支援センター かどの なおみ
エポック幼稚舎 角野 直美

79号の topics

- こだわりの食事を提供
- 水耕栽培の野菜を使ったレシピ紹介
- 一般企業での就労を支援
- 地域共生型福祉研修会を開催
- シリーズ新人紹介
- 認知症の方を地域ぐるみで見守る

■ 法人本部・公益分野 ■ 高齢者分野 ■ 障害児・者分野 ■ シリーズ

みんなで食べる食事は美味しいね

～手作りの食事にこだわり～ デイサービスしまの風 かねの ひろかず 金野 弘和



私たちが作っています

デイサービスしまの風では、調理員3名が利用者さんの昼食を毎日手作りし提供しています。利用者さんの中にはひとり暮らしの方や高齢のご夫婦二人で暮らしている方も多く、また、日々の食事の支度が大変な方や、十分に栄養を取ることができない方もいます。

しまの風では「手作り」で「作りたて」の料理を提供することにこだわり、ゆっくりと食事を楽しんでいただいています。食事がしまの風に行く楽しみのひとつとなり、しっかりと栄養を取ること

で、体力を維持し生活の質を落とさず、住み慣れた地域で暮らしたいという思いをサポートしています。

魚や肉を中心とした和食メニューから、正月やクリスマスなど季節行事の特別メニューまで、料理を通して四季の移り変わりを感じる工夫もしています。誰かと一緒に食事をすることでより美味しく感じる事ができ、食べる楽しさが表情や会話から伝わってきます。

しまの風の職員になれば同じメニューが食べられますよ♪



年越しそば



おせちも好評でした

施設外就労のメリットを活かした就労支援

～希望の職場で頑張る～

ワークスさつきでは、今年度、2名の利用者さんが一般企業へ就職しました。今回、(株)CXカーゴに就職した村上 凌太さんを紹介します。

村上さんは、企業に訪問して作業を行う施設外就労に、職員1名と利用者さん4名で取り組んでいました。毎日の参加を通して、「ここで働きたい」という思いを強く持ったことから、一人で参加する職場実習を行い、採用が決まりました。

利用者さんは、施設外就労に職員と参加することで、安心感を持ちながら企業の中で働く経験を積みまます。その経験を継続することが自信につながり、企業で働くイメージを作る訓練になります。



▲就職先の「(株)CXカーゴ」

(株)CXカーゴは、相談員の配置を行うなど、障害への理解や配慮があります。定期的に声掛けや評価を伝えてくださるため、早い段階から社員さんとの信頼関係が構築できたことも就職に結びついた要因だと考えています。

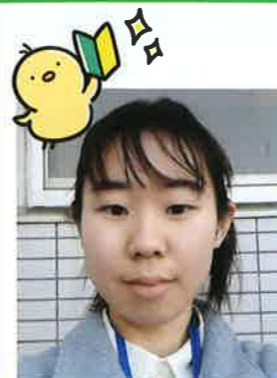
村上さんは、「目標はまず1年、そして3年、5年、10年と就労が継続していけるように頑張ります」と目標を力強く語ってくれました。

はしもと ゆうた
ワークスさつき 橋本 雄太



▲勤務中の村上凌太さん

新人職員紹介



あかえだ さき
赤枝 沙紀さん

尾道市障害者サポートセンターはな・はな

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

大学生の時、先生から放課後等デイサービスでのアルバイトを紹介され、卒業までの期間お世話になりました。障害のある児童と関わるのは初めてでしたが、活動の中で成長していく様子を見て、この仕事に就きたいと思いました。

Q2 一番印象に残った仕事は？

「仕事とくらしの福祉事業所説明会」です。事務局として、福祉サービス事業所への連絡、動画の編集、YouTubeへの投稿など今まで経験したことのない作業の連続でしたが、周りの方に助けていただき、やりきることができました。



ふしもと みき
藤本 美紀さん

尾道市向島地域包括支援センター

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。

小さなころから、地域のおじいちゃんおばあちゃんが一緒に遊んでくれ、困った時は助けてくれる環境だったので、自然と高齢者に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。うまくいかない事が多く反省の日々ですが、失敗を学びに替え、地域に貢献していきたいと思っています。

Q2 一番印象に残った仕事は？

地域包括支援センターでは、サロンに参加して認知症や介護予防、権利擁護の話をする機会があります。参加者の方が「年老いてできることが少なくなっても、地域で生活してもいいと思えた」という言葉をかけてくださいました。年老いていくということに対して、不安や喪失感を感じている方が多いと感じますが、少しでも安心して地域で生活できるお手伝いができるように頑張りたいと思います。

見守り訓練で声掛けを学ぶ

2023年11月27日に、吉和町のにしごこ地区で「おのみち見守り訓練」を行いました。尾道市が2014年度から実施している認知症の方の徘徊を想定した訓練です。認知症当事者、地域住民、尾道福祉専門学校1年生、尾道市西部地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員、キャラバンメイト、にしごこ地区の高齢者施設職員の約70名が、認知症のお年寄りに対する声掛けを学びました。



▲声掛けの様子を見守る参加者たち

見守り訓練は、認知症の方を地域ぐるみで見守るうと、尾道市内の地域包括支援センターが中心となり毎年5カ所ほどで開いています。

たに よりのぶ
星の里・にしごこの家 谷 頼誕



▲地域の方をはじめ多くの方が参加しました

見守り訓練に参加した、尾道福祉専門学校村上七海さんのコメント「今日の経験をもとに、地域の方々と繋がりがりながら利用者さんを支援できる介護福祉士になれるよう頑張ります」

にしごこの家 グループホーム Instagram 始めました。にしごこの家の生活の様子をのぞいてみてください。

